

トビタテ! 留学

JAPAN 静岡

留学×探究、
可能性無限大!

第2期

2025年度
派遣留学生募集人数

最大 **50** 名

支援金額
27万円～83万円

ふじのくにグローバル人材育成事業

文部科学省官民協働海外留学支援制度
～トビタテ!留学JAPAN 新・日本代表プログラム～
[拠点形成支援事業]採択事業

応募受付

新高校2・3年生
2025年1月10日～2月20日(予定)

新高校1年生
2025年4月1日～4月25日(予定)

留学期間

2025年7月10日～10月31日の間で
14日以上93日以内

支援企業・団体(2023年4月以降)



静岡県遊技業協同組合

一般社団法人
静岡県信用金庫協会

清水埠頭株式会社



静岡銀行



静岡県高等学校長協会 / 静岡県高等学校等副校長・教頭会 / 静岡県公立高等学校事務職員協会 / 学校関係団体(同窓会、後援会等) / ふじのくに応援寄附金(個人支援者)

「ふじのくにグローバル人材育成事業」運営協議会 構成員

一般社団法人静岡県経営者協会 / 公益社団法人静岡県国際経済振興会 / 公益財団法人静岡県国際交流協会 / 公益財団法人日本教育公務員弘済会静岡支部 / 公益財団法人はごろも教育研究奨励会 / 静岡県高等学校長協会 / 公益社団法人静岡県私学協会 / 公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム / 静岡市教育委員会 / 浜松市教育委員会 / 静岡県教育委員会

お問い合わせ

Tel.054-221-3134/3674

[mail] kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

「ふじのくにグローバル人材育成事業」
運営協議会事務局
(静岡県教育委員会教育政策課)



詳しい情報はこちら

自ら社会に変革を起こし、静岡の未来を創るグローバル人材を目指す!

そんな高校生のための留学支援制度です。

県内の産学官で構成する「ふじのくにグローバル人材育成事業」運営協議会が探究活動を伴う県内高校生の留学を応援します。

求める人物像

留学生は、地域や社会が抱える課題に関するテーマを自ら設定し、自由な発想と想像力を持って、課題解決や社会貢献につながる探究活動を行います。

留学を通じて以下のような素養を身に付けようという意欲を持った人材を求めます。

- 世界の人々との交流を通じて得た学びから、多様な価値観を柔軟に取り入れようとする意欲
- 独自の視点や考えを有し、社会のために貢献しようとする志
- 好奇心を原動力にして、自由な発想で新たな価値を創造する力
- 探究心を持ち続け、視野を広げ情報収集しようとする姿勢
- 失敗を恐れず、未知の領域に試行錯誤しながら挑戦し続ける強い気持ち
- 自らリーダーシップを発揮し、周囲を巻き込む力
- 多様な人々と真摯に向き合い、対話して協働する姿勢

対象者

静岡県内の高等学校等(高等学校、特別支援学校高等部、高等専門学校(第3学年以下)、及び専修学校の高等課程)に在籍する生徒等、または広域通信制高等学校に在籍し静岡県内の通信教育連携協力施設において通信教育を受ける静岡県内に居住している生徒であって、日本国籍を有する者又は応募時までに日本への永住が許可されている者



選べる5つのコース

コース名	探究分野	支援予定人数	募集単位
①マイ好奇心探究コース	自分の興味・関心等	若干名	個人
②社会課題探究コース	世界・日本・地域が抱える社会課題	若干名	
③STEAM探究コース	STEAM(科学、技術、工学、芸術、数学)領域	若干名	
④スポーツ・芸術探究コース	スポーツ・芸術	若干名	
⑤ふじのくに地域探究コース (静岡県の特性を踏まえた探究)	(A)ものづくり・地域産業 (B)多文化共生・多様性 (C)観光交流促進 (D)農林水産業 (E)その他、スポーツ・芸術等静岡と世界を繋ぐ様々な分野 (F)ものづくり×アジア (G)観光交流×アジア	約40名	個人または チーム(最大4人) ※チーム応募は 新2・3年生のみ可能
計		約50名	

支援金額

27万円～83万円

※留学先や留学期間、家計基準に応じて決定します。
(例)米国に1ヶ月間留学する場合・・・最大51万円(渡航経費の補助を含む)
台湾に1ヶ月間留学する場合・・・最大33万円(”)

スケジュール



～トビタテ! 留学生 静岡の先輩体験談～



石川智美さん(静岡県立静岡高等学校)

社会探究コース(社会課題探究コース)

▶▶▶カンボジア(約3週間)

【国境なき教育を求めて】

開発途上国の教育は本当に日本と比べて遅れているのか

海外の教育を学びにカンボジアへ行きました。教育ボランティアや学校訪問を通して、開発途上国にも素晴らしい教育があることを知りました。慣れない環境でも周りを頼り計画を実行する力が身に付きました。



鈴木天華さん、平山佳誉さん(チーム応募)
(静岡県立小山高等学校)

ふじのくに地域探究コース②多文化共生・多様性コース

▶▶▶ニュージーランド(約3週間)

学校教育におけるジェンダーとLGBTQの言説 —日本とニュージーランドの比較—

ニュージーランドがジェンダー平等とLGBTQに対して寛容な社会を構築する要因を探るため、街頭アンケートをメインに探究活動を行いました。留学を通して得た一つ一つの経験が、私たちの視野を大きく広げてくれました。



多々良大和さん(藤枝明誠高等学校)

ふじのくに地域探究コース④農林水産みらいプロジェクトコース

▶▶▶カナダ(約5週間)

お茶を静岡から世界へ

私は静岡茶の海外での可能性を探るためにカナダへ留学しました。現地では多くのお茶屋さんを訪れ、日本茶の需要や果たすべき役割について学びました。この留学を通して全く違った環境に飛び込んでみることで自分の価値観を広げることができました。